

平成27年11月15日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



**こんの**  
ながひと  
長人 社民党公認

▽ 憲法の理念を、県の

すべての政策にいかします

県民一人ひとりが大切にされ（基本的人権）、  
県政の主人公は常に県民であること（主権在民  
主義）を基本に県政にのぞみます。

▽ 医療と福祉を大切に

福島県のために力をつくします

医療や介護を必要とする皆さんと、そこで働く  
皆さんが大切にされる福島県をつくりたい。

▽ 平和をこわす戦争法は、

あきらめずに廃止をめざします

良識ある多くの皆さんと力を合わせ、戦争法の  
廃止を目指していきます。

▽ TPPに反対し、農業と

安全安心のくらしを守ります

無秩序な国際競争によって、農業に限らず医療  
や保険など、安全安心の仕組みをこわすTPP  
の実施に反対します。

▽ 脱原発社会の実現をめざし、

再生エネルギーを推進します

再生可能エネルギーを、ふくしま復興のシンボ  
ルにかかげ、飛躍的な推進を目指します。

▽ 教育予算の拡充で、

ゆきとどいた教育をつくりたい

教職員が、子どもと向き合う時間を十分に確保  
できるように県独自の教育予算を拡充します。

▽ 復興推進へ、自治体の

人員拡充に力をつくします



自由民主党公認  
**佐藤**  
まさひろ 49歳

## ふくしま創生、未来へ！

震災はふくしまの未来に何をもたらしたのでしょうか。  
ふくしまだからこそできる新たな価値を創造すること、

**大きなチャンス**です。

- わくわくする、輝くふくしまに。
- 子どもたちの笑顔のあふれるふくしまに。
- ふくしまの新たな価値の創造と世界への貢献

**再生可能エネルギー**  
日本の技術力を結集して。

**新しい農業**  
ふくしまだからこそチャレンジを。

**先端医療**  
私たちの健康を守り、示すために。

**教育力向上**  
子どもたちの未来を切り開くために。

### やりましょう！

<p>■ プロフィール 1966年8月14日 福島市生まれ</p> <p>■ 学歴 1989年3月 青山学院大学 国際政治経済学部卒業 1998年2月 エラスムス大学(オランダ) 経営修士課程修了</p>	<p>■ 経歴 1989年4月～2009年7月 (株)東芝 2009年11月～2011年2月 福島市議会議員(1期) 2011年11月～現在 福島県議会議員(1期)</p> <p>■ 主な役職 2011年11月～ 自由民主党福島県支部連合会 副幹事長 2013年11月～ 自由民主党福島県支部連合会 副政調会長</p>
--	---



自由民主党公認  
**丹治**  
トモユキ 44歳

# 福島には 若々しい 必要です！！ が

福島を未来でつなぐ。

福島の再興は、今この地に命を受け継ぐ  
私たちの責任です。  
私たちは、これからも続く苦難を  
引受け、再生を誓い合い、子どもや  
孫に確かな未来を引継ぐ責任が  
あります。



決断と覚悟 私たちが守りぬくこと

- ① 命を守りぬく 大規模除染と継続的健康管理の実施。
- ② 生活を守りぬく 「食」と「職」の確保が最低ラインです。  
今こそ、地方分権、日本のクニの形を  
デザインし直す時です。
- ③ 未来を守りぬく

経歴  
福島市議会議員2期、村井よしひろ(現宮城県知事)秘書  
慶應義塾大学法学部乙類(通信課程)卒業  
グロービス経営大学院経営研究科(MBA)修了

平成27年11月15日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



公明党公認

## いとう 達也

四十五歳

### 希望ある復興・創生へ！ 県政と国政をつなぐ「即戦力」

#### ●主な経歴

大東証券(現みずほ証券)勤務を経て、衆議院議員 田端正広 公設第二秘書、同第一秘書、衆議院議員 竹内謙 政策担当秘書として国政の最前線で活躍。  
現在は、公明党福島県本部政策局長、青年局長。

#### いとう達也の「公約」

- 1 福島復興を加速化します！
- 2 人が生きる、地方創生を目指します！
- 3 支え合い、一人を大切に  
健康長寿社会を推進します！
- 4 安全・安心な  
地域づくりを強化します！
- 5 教育・文化・スポーツ事業を  
充実させます！

#### いとう達也の「決意」

未曾有の大震災と原発事故から四年がたち、福島は今、まさに正念場を迎えています。同時に、人口減少と高齢化という震災前から抱えていた課題の解決も急がれます。故郷の再生、そして発展を願う、一人一人の思いを真正面から受け止め、その「切なる願い」をカタチにしていきたい。私は、この思いで、県政への転身を志しました。

証券マン、そして国会議員秘書として培ってきた経験を活かしながら、希望ある福島の復興・創生へ、いとう達也は「とことん現場主義」で取り組んで参ります。



## おおば 秀樹

民主党

### 県政へ今度こそ！！

福島は、本日は、魅力にあふれています。福島は、本日は、大きな可能性を秘めています。

福島は、今こそ、踏ん張らないといけません。福島で生まれ、学び、働き、家庭をつくり、福島で安心して老後を過ごせる、当たり前の福島を。

福島の「良さ」を取り戻したい。もっと「良い」福島にするまで、私は、成し遂げるまで行動します。

「守りたいもの」があります。「変えなければならぬこと」があります。

今度こそ、おおば秀樹を、県政の場で働かせてください。

昭和44年11月7日生まれ 46歳  
 駒沢大学大学院経営学修士課程修了  
 松下政経塾員 ●福島市議会議員  
 参議員議員金子恵美 公設第一秘書  
 福島リパティライオンズクラブ会長  
 ●NPO法人子ども未来クラブ理事長  
 ●FMボコ ラジオパーソナリティー  
 現職 ●UAゼンセン政治顧問  
 ●中小企業家同友会福島地区理事  
 家 ●妻・康子(旧姓 上野) 福島市出身  
 族 (済生会福島総合病院 薬剤師)



## 子どもの未来を守る

- 教育・人づくりで復興の担い手づくり
- ひとり親家庭の支援を充実
- 原発ゼロ社会の実現

## 農業と観光を強くする

- フルーツラインのブランド化で農業・観光振興
- フルーツラインで結ばれる飯坂・土湯・高湯温泉と、農業を結びつけブランド化し、福島の魅力を全国・世界に発信します。

## 働く人を守る

- 女性・若者・非正規雇用労働者の雇用対策

## 高齢者に優しい社会をつくる

- 高齢者福祉と医療を充実
- 医療従事者・介護士の働きやすい制度を構築

安保法制に反対し廃止を求め活動しています

# 日本一「住んでよかった」「生まれてよかった」福島をつくりまします。

子どもたちが夢と目標を持ってすこやかに育つ福島、若者が帰ってくるふるさとをつくりまします。



## にしやま 尚利



- 1 安全な「再生可能エネルギー」を供給電力の柱にする福島にします。
- 2 全世界と、意思・心の通じ合う福島を育てます。
- 3 浜通りに最新鋭ロボット産業集積地をつくりまします。
- 4 全国に誇れる農業県・福島の再生に取り組みます。
- 5 県内の医療を県人が担う、充実の医療体制を築きます。

〈にしやま尚利プロフィール〉1965年(昭和40年)2月26日、土湯温泉町に生まれる(50才)。土湯のあつかい温泉町で幼少期を過ごす。実家はラーメン屋。市立土湯小学校・西信中学校、県立福島東高等学校を経て法政大学経済学部を卒業。木下工務店で宅地建物取引主任者として9年間住宅不動産営業に携わる。平成8年5月帰郷し、白河にて代議士の秘書として政治の基礎を学ぶ。平成11年福島市議会議員(1期)・福島県議会議員(2期)を務める。現在両親、妻、子供3人と7人暮らし。  
●座右の銘：未見の我 ●趣味：スポーツ、詩吟、阿波踊り

平成27年11月15日執行 **福島市選挙区**  
**福島県議会議員一般選挙選挙公報**  
 福島県選挙管理委員会

現職とは  
ココが違う

しがらみがない。うやむやにしない。長い物には巻かれない。  
 県民に身近で、生活に直結する政策に重点的に取り組みます。

『国任せ、机上の空論ばかりの中間貯蔵施設を推進』

自宅保管、仮置き場、学校&公園の敷地内保管の早期解消の為、  
 未だの立っていない中間貯蔵施設の地権者交渉に取り組みます。

『担い手不足の課題。現場経験を積み改善へ』

イノシシ&クマの対策を現役狩猟者として、取り組みます。  
 河川・道路などの草刈り&木竹伐採を継続して取り組みます。  
 生活困窮者支援としてフードバンク(食糧支援)の拡大します。

『福島市議会とは大違い！身を切る議会改革を推進』

先送りした議員定数削減の推進。何でもありの政務活動費を是正。  
 県庁内で議員控室だけ喫煙OKという時代遅れの考え方を是正。  
 県職員に便乗し、議員もボーナス増額(18万円増)する感覚を是正。

視覚障がい者の方へ。音声での御挨拶です。政策のパンフも確認できます。



市議時代の活動報告はホームページで

プロフィール

●家族/妻・子ども3人(5歳、4歳、2歳)  
 ●ネコ4匹・ヤギ1頭  
 ●福島市永井川在住(JR南福島駅近郊)

2003年 国立旭川工業高等専門学校 電気工学科卒  
 2003年～2011年7月 東芝メディカルシステムズ㈱  
 2011年7月～2015年7月 福島市議会議員(1期)



**大内 ゆうだい** 32歳

働く人が報われる社会と、県民生活の向上を目指します!

**主な経歴**

**経歴**  
 1984年●福島県立安達高等学校卒  
 日本電信電話公社入社 (現 NTT 東日本)  
 1999年●NTT 労働組合福島県支部 花園直轄分会長  
 2000年●連合福島 福島地区連合会副議長  
 2003年●福島県議会議員選挙初当選 NTT 東日本退社  
 2007年●福島県議会議員選挙2期目当選  
 2011年●福島県議会議員選挙高選(次点)

**役職**  
 情報労連福島県協議会 特別幹事  
 NTT労働組合東北総支部 特別執行委員  
 民主党福島県第1総支部 政調会長  
 福島県立高橋高校PTA 副会長  
 前福島市小中学校PTA連合会 副会長  
 前福島市立渡利中学校PTA 会長  
 元福島市立南向台小学校PTA 会長

自宅  
 〒960-8143  
 福島市南向台三丁目6-11  
 TEL (024) 522-8086  
 FAX (024) 522-8119  
 ●1965年4月16日生まれ 年齢50歳  
 ●妻と男の子2人の4人家族  
 ●趣味/スポーツ・映画鑑賞・読書  
 ●信条/日々精進

- 「復興・再生」の早期実現  
 ◆東日本大震災からの復興と再生の早期化と原子力災害の収束と克服に努めます。  
 ◆徹底した除染の実施 ◆風評被害の対策 ◆原発災害の監視体制の強化  
 ◆災害に強いインフラ整備と再生可能エネルギーの促進を図ります。  
 ◆災害に強いライフラインや交通網の整備 ◆再生可能エネルギーの促進
- 「安全で安心な社会」の確立  
 ◆産み、育てやすい子育て支援、教育環境の整備、健康管理の充実に努めます。  
 ◆県立子ども病院の創設 ◆健康手帳の発行  
 ◆高校授業料の無料化 ◆教育予算の充実  
 ◆高齢者や障がいのある人達が生活しやすい環境や医療・福祉の充実に努めます。  
 ◆福祉施設の拡大への支援制度 ◆介護保険に関わる自治体の負担減  
 ◆ノーマライゼーションの推進
- 「地域の活性化」の推進  
 ◆地域経済の活性化と雇用の確保に努めます。  
 ◆地域中小企業への資金支援の拡充 ◆福島県の最低賃金の向上  
 ◆地元雇用の確保への強化  
 ◆六次産業を推進し、魅力ある「くしま」創りを目指します。  
 ◆六次産業の推進 ◆県産ブランドの創出

**福島市の未来を切り拓く!!**



**高橋ひでき** 50才

各投票所の投票できる時間は、次のとおりです。

■当日投票所

福島市選挙区全投票所

7:00 から 20:00 まで

■期日前投票所、不在者投票所

原則として

8:30 から 20:00 まで

※ 一部、異なる場合があります。

詳しくは、福島市選挙管理委員会にお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。  
 候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

平成27年11月15日執行

福島市選挙区

# 福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会



日本共産党  
**宮本**  
しげお

原発事故から4年半半すぎても事は収束せず、くらしは大変です。原発再稼働・賠償打ち切り、戦争法強行の安倍政権は許せません。くらし・平和を守る県政へ、ごいっしょに政治を変えましょう。

県予算約2兆円をくらし応援に

学校給食費は

無料・軽減を  
無料へは約80億円

医療介護職員の待遇改善で  
介護施設増やす

国保税引き下げを  
(1世帯1万円引き下げ約30億円)

▼特養老人ホーム待機者ゼロで、  
約2400億円の仕事創出。

国・東電・県へ実施をせまります

精神的苦痛、営業損害、風評  
すべての被害へ賠償を

がん検診無料化、徹底した除染  
健康不安に対策を

TPP撤退、消費税10%中止を

戦争法廃止の国民連合政府を

日本共産党は、「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府をつくること、そのために一致する野党が、国政選挙で協力することをよびかけています。

宮本しげお略歴▶1952年生まれ。県立総合衛生学院看護学科卒。福島市議7期、福島県議1期。▶事務所 渡利字舟場2-4 電話・FAX 024-526-0228

## みんなで育む明日のふくしま



自由民主党公認  
**さくらだ**  
あやか  
五十八歳

女性として・妻として・母として、未来を担う子どもたちを心豊かに育むふくしまをつくるために全力を注いでまいります。

\*\*\* 復旧復興対策

子どもたちが安全に安心して暮らすことができるふくしま、誰もが安全に安心して暮らすことができるふくしまをつくりまします。

\*\*\* 経済雇用対策

これからの産業・経済を支えていくのは私たちの子どもたちです。子どもたちがいきいきと働くことができるふくしまをつくりまします。

\*\*\* 地域医療対策

これからの社会を支えていくのは私たちの子どもたちです。安心して子どもを産み育てることができるようふくしまをつくりまします。

\*\*\* 少子高齢対策

おじいちゃんおばあちゃんの笑顔は子どもたちの心を育みます。高齢者も安全に安心して暮らすことができるふくしまをつくりまします。

未来を担う子どもたちを健やかに育み、命のリレーを育み、ふくしまの未来を育みます。

さくらだ葉子プロフィール

昭和三十二年福島市瀬上町生まれ  
福島市立瀬上小学校卒業  
桜の聖母学院中学校・高等学校卒業  
国立音楽大学声楽科卒業  
福島学院大学客員教授（現在）  
平成十五年県議会議員初当選三期目  
平成二十一年商労文教委員会委員長  
平成二十三年総務委員会委員長  
平成二十五年議会運営委員会委員長

http://www.sakuradayoko.net/

## 福島県議会議員一般選挙

# 投票日

# 11月15日(日)

福島県選挙管理委員会・  
福島県明るい選挙推進協議会



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。